

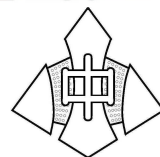
郡山市立小原田中学校
学校だより

号外

手をたずさえて

“小原田PRIDE”～自信と誇り

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和4年3月30日(水)発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

別れは、出会えたことの幸せに気付かせてくれる！
ありがとう！小原田中学校

令和3年度教職員人事異動が発表されました。今年度末をもって8名の教職員が転退職することになり、新たに9名の教職員をむかえ入れることになりました。今年度、転退職する教職員は、離任式の中で生徒のみんなの顔を見ながら挨拶をすること、小原田中学校の校歌を聴くことができません。残念な気持ちでいっぱいですが、やむを得ません。離任式での挨拶の代わりに、この学校だより【号外】にて、転退職する先生方のメッセージを掲載します。

【令和3年度教職員人事異動について】

【退職・転出】

熊坂 洋：退職
石井倫明：退職 再任用 郡山市立小原田中学校
高原明美：郡山市立富田中学校
二宮太郎：玉川村立玉川中学校
栗原洋美：郡山市立郡山第一中学校
鈴木秀希：福島県立郡山高等学校
合津 恵：養護教諭 いわき市立中央台南中学校
佐久間恵子：特別支援教育補助員
(郡山市立明健中学校)

【転入】

菊池博基：校長 郡山市立富田西小学校
荻野祐治：郡山市立郡山第六中学校【数学】
服部直樹：郡山市立西田学園【数学】
高橋一禎：郡山市立逢瀬中学校【数学】
安藤友恵：天栄村立天栄中学校【理科】
赤沼大蔵：再任用 郡山市立緑ヶ丘中学校【数学】
上田絢子：養護教諭 湯川村立湯川中学校
鈴木正栄：講師(矢吹町立矢吹中学校)【社会】
渡邊剛至：講師(新採用)【保体】



転退職する教職員からのメッセージ

7年間お世話になりました。この7年間、生徒の皆さんが学年を追うごとにたくましく成長していく姿を目にし、教師としてやりがいを感じながら働くことができました。小原田中での7年間を漢字一文字で表すとすれば、「挑」です。生徒一人一人の頑張る姿に刺激を受け、私自身もいろいろなことにチャレンジした7年間でした。失敗も多かったのですが、それ以上に得るものも多く、何事もやろうやろうと思っているだけではダメで、やってみる、チャレンジしてみることがいかに大事なことになるのか、実感することができました。パソコン部の顧問として、部員と共に試行錯誤しながら、活動の幅を広げていったことも良い経験になりました。思い出深いこの学校を去るのはとても寂しいです。担当していた1学年の皆さんの成長を見届けることができないのはとても残念ですが、時々ホームページをのぞいて、皆さんの頑張る姿を見ていきたいと思います。応援しています。長い間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。【高原明美】

小原田中学校には2年間、お世話になりました。生徒のみなさんが誠実に学習や係活動などに取り組む姿をいつも感心して見ていました。みなさんとは主に、授業や生徒会活動を通してふれあってきました。主体的に物事に取り組む姿勢を今後も継続させてください。

4月からは福島空港近くの玉川村の中学校に赴任することになりました。小原田中学校で学んだことを生かして、自分らしく職務を全うしたいと思います。最後になりましたが、保護者の皆様方には陰に陽にたいへんお世話になりました。今後も子供達の成長をあたたく見守ってあげてください。本当にありがとうございました。【二宮太郎】

このたび、郡山第一中学校へ異動することになりました。小原田中学校には、とても長く勤務していたので、転勤するのはとても寂しく感じています。また、1年担任としては、卒業まで見送ることができず、大変心残りです。

しかし、最後の学年集会で「慣れたクラスがいいのは当たり前。皆さんの社会性を発達させるために、クラスがえをします。」という話がありました。今は、自分の状況に置きかえて、このお話を受け止めているところです。自主性、協調性、責任感などの社会性を身に付けるために、1年生の皆さんは新しいクラスで居場所を見つけ、自分を磨いていかなければなりません。ですから、先生も新しい学校で、同じような気持ちで頑張っていこうと思います。

小原田中学校は、毎年明るくて素敵な学校に進化しているな～と感じています。それは、きっと小原田中学校の生徒1人1人が「自分たちでよりよい学校を創っていくぞ!」という気持ちをもって生活しているからだと思います。お陰でいつも「今が一番いい!」と思いながら勤務することができました。また、コハ中の和気藹々とした雰囲気も大好きです。

3年生の皆さんは、後輩から尊敬されるかっこいい先輩でした。委員会に部活動、学校行事などで明るくリーダーシップを発揮し、優しく丁寧に後輩に教え、導いていく姿は輝いていて、感激しました。小原田中学校で培った「自分たちで気づき、考えて行動する力」は、変化の激しい世の中でも、きっとたくましく道を切り拓く原動力になることでしょう。新しい生活にも、自信をもってのぞんでください。

2年生の皆さんは、「生きるとは?」という問いと真剣に向き合い、オリジナルの素晴らしい詩を創ってくれました。若さって素晴らしい! いや、2年生って素晴らしい! と思いました。みずみずしい感性に脱帽です。来年度、また様々な制限がある生活かも知れませんが、唯一無二の詩を創りあげたように、身近なところに注目して自分たちで楽しみを見つけ、充実した学校生活を創りあげていってください。

1年生の皆さんには、心から感謝しています。皆さんのお陰で、毎日の授業はもちろん、何でも楽しく取り組むことができました。体育祭や学習旅行をはじめ、草むしりや落ち葉拾いでさえも一緒に取り組めば何でも楽しかったです。特に、3年生を送る会でみんなと一緒にパブリカを練習したことが心に残っています。来年は、上級生ではなく、真の先輩になれるように、がんばってください。

1年3組の皆さん、みなさんの幸せを陰ながら応援しています。個人的なことです。実は、去年の9月に大学の時からずっと仲良くしてた友達が病気で永眠しました。コロナ禍でお別れにも行けず、悲しみに沈んでいたのですが、3組のみなさんの強烈な? 明るさに救われました。ありがとう。命は有限なのです。3組のみんなも一日一日を大切に、悔いなく生活してほしいと思います。「一日一生」ですね。

先生方との思い出を振り返ると、小原田中に着任する前に出会った先生方が、たくさんいらっしゃいました。前の学校で担任していた生徒の保護者の方が校長先生だったり、前の学校で一緒に卒業生を見送った先生とまた同じ学年で卒業生を送り出したり、教え子が教員として同僚になったり、自分が中学生の時に部活の顧問としてお世話になった先生と机を並べて働いたり、教育実習生でお世話になった先生が学年主任の先生だったり・・・不思議なご縁に恵まれ、幸せな学校生活を送ることができました。

保護者の皆様にも大変お世話になりました。未熟な自分は至らないところがあり、ご迷惑をおかけしたかと思いますが、保護者の皆様のご協力により、一年一年無事に修了させていただきました。ご家庭でバックアップして支えていただき、本当にありがとうございました。

今回は離任式が中止となり、小原田中学校の皆さんに直接ごあいさつできず、突然のお別れとなってしまいましたが、またどこかで出会えるかもしれません。その時は、気軽に声をかけてくれると嬉しいです。皆さんの輝いた姿、活躍の噂などを見聞きできることを楽しみにしています。ありがとうございました！お元気で！【栗原洋美】

小原田中学校2年間の勤務でした。皆さんには、中学校あるいは高校生活で「何か1つのことに熱中して取り組む」時間をつくってほしいと思います。勉強でも部活動でも趣味でも…どんなことでも良いので1つのことに全力で取り組んでみてください。その経験が、その後の人生できっと役に立ちますよ。もともと高校の教員である私にとって、小原田中学校での生活は勉強になることばかりでした。そのように感じることも皆さんのおかげです。またどこかでお会いしたら気軽に声をかけてくれるとうれしいです。短い間でしたが、本当にありがとうございました。【鈴木秀希】

小原田中に赴任したのはもう8年前になりますが、初めて小原田中に来た時のことを覚えているくらい、あっという間のひとときでした。実は、中学校で働くのは小原田中が初めてだったので、緊張や不安もありましたが、皆さんの明るさと真面目さに助けられ、楽しく充実した8年間を送ることができました。小原田中で過ごした日々は、私の教員生活のかけがえのない思い出の一つとなっています。ありがとうございました。明るい挨拶と、どんなことにも一生懸命な皆さんなら、この先どんな困難にも立ち向かえると思います。いわき市にも皆さんの活躍が聞こえてくることを楽しみにしていますね。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、これまでたくさんのご支援を賜りまして、ありがとうございます。益々のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。【合津 恵】

私が小原田中学校に着任したのは七年前です。特別支援教育補助員として仕事をするのは、小原田中学校が初めての学校でした。来たばかりの頃は分からない事や戸惑うことがたくさんありましたが、先生方や生徒の皆さんに助けて頂きました。七年間の間にたくさんの生徒の皆さんと出会って、行事等を通じて一緒に色々な経験を積み重ねることが出来ました。その一つ一つが私にとってかけがえのない思い出となりました。補助員として初めて勤務した学校が小原田中学校で本当に良かったと思います。そして、そう思わせてくれた小原田中学校に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。生徒の皆さん、小原田中生であることに誇りをもち、これからの学校生活をさらに充実させてください。応援しています！

最後になりますが、保護者の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。長い間、大変お世話になりました。【佐久間恵子】

創立60周年の学校で退職（60歳）を迎える校長って、そうはいないと思います。運命的な巡り合わせを感じます。私が掲げてきた『小原田PRIDE』は、裏返して言えば、『小原田中“愛”』だったと思います。竹内まりあさんの楽曲『いのちの歌』に、次のような歌詞があります。

生きてゆくことの意味 問いかけるそのたびに

胸をよぎる 愛しい人々のあたたかさ

この星の片隅で めぐり会えた奇跡は

どんな宝石よりも たいせつな宝物

“その人”との出逢いは、ある意味で“奇跡”なのかもしれません。そして、我々の人生は、人との出逢いの連続でもあります。あなたたちに出逢えてよかった。しみじみとそう思います。あなたたちも、これからの“人との出逢い”を大切にしてほしいと思います。

愛する小原田中とも別れの時がやってきました。そして、38年間の教職員生活にも終止符を打つ時がきました。小原田中生、卒業生、保護者の皆様、教職員、地域の皆様、すべての方々に心より感謝いたします。本当にありがとうございました。お世話になりました。【熊坂 洋】